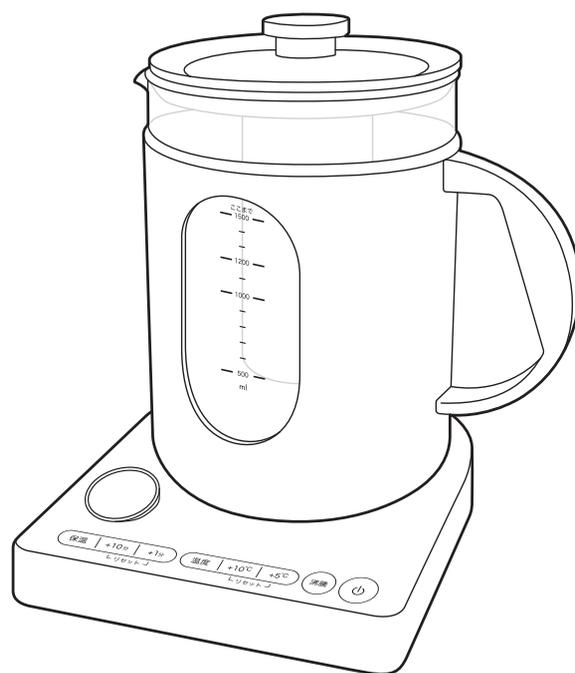


家庭用

kukup?

調理ポット「ククポ」

品番 PO-163



本製品は日本国内用に設計されておりますので、国外での使用はできません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

取扱説明書 保証書付

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

目次

| | |
|--------------------|-------|
| 安全上のご注意 | 1~3 |
| 使用上のお願い | 3 |
| 各部の名称 | 4 |
| ご使用準備 | 5 |
| ご使用方法 | 6~11 |
| お手入れ方法 | 11~12 |
| 故障かな?と思ったら | 13 |
| アフターサービスについて | 14 |
| 仕様 | 14 |
| 保証書 | 裏表紙 |

※本書に記載されているイラストはイメージです。

安全上のご注意 ①

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
以下の警告マークを表示している事項はいずれも安全に関する重要な内容です。
必ずお守りください。

※本体に貼られている警告シールは、ご使用の際の危険や注意を促すものですので、はがさずにご使用ください。

| 警告マークの種類 | 警告マークの内容 |
|---|--------------------------------|
|  危険 | 人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容 |
|  警告 | 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容 |
|  注意 | 人が重傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容 |

図記号の例

| | |
|--|--|
|  禁止 してはいけない内容 |  指示 実行しなければならない内容 |
|--|--|

|  危険 | |
|--|---|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ●電源コネクタ部分に金属製クリップやヘアピンなどの異物を接触させない。 感電・ショート・発火の原因になります。 ●ガス火にかけたり、電気ヒータ・電磁調理器・電子レンジなどで使用しない。 火災・変形・故障の原因になります。  |

|  警告 | |
|--|--|
|  禁止 | <p><電源プラグ・コードについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグ・コードを傷つけない、引っぱらない、無理に曲げない、ねじらない、束ねない、はさみ込まない、重いものをのせない、加工しない。 発熱・火災・感電の原因になります。 ●電源プラグやコードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 ショート・発火の原因になります。 ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。 感電・ショート・発火・けがの原因になります。 |
|  指示 | <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。 プラグにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 ●定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する。 他の機器と併用すると分岐コンセント部が発熱し、火災や故障の原因になります。 ●電源プラグをコンセントから抜くときは、電源ボタン部のランプが消灯していることを確認する。 ショート・発火の原因になります。 |

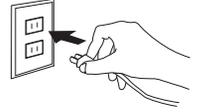
安全上のご注意 ②

警告



指示

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- 使用中、電源プラグやコードが異常に熱くなる時は、ただちに使用を中止する。
- 子供が、本体・給電スタンドで遊ばないように注意する。



警告



禁止

<お取り扱いについて>

- 絶対に分解・修理・改造をしない。
発火・感電・けがの原因になります。
- 本体底部や給電スタンドに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いをしない。
- 小さな子供だけで使用させない。また、乳幼児のそばで使用したり、手の届くところに置かない。
- 自分で操作できない人や、補助を必要とする人、取り扱いに不慣れな人だけで使用させない。
けが・やけど・感電の原因になります。
- 火やストーブなど熱源のそばや、直射日光のあたる場所で使用しない。
発熱・発火・故障などの原因になります。
- 風呂場などのぬれた場所・高温多湿になる場所での使用は絶対にしない。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 水のみ場合は「こまで/1500」、調理の場合は食材を含めて「1200」の水量目盛を超えない。
お湯が吹きこぼれ、やけど・感電のおそれがあります。
- 本体を抱きかかえたり、大きく傾けたり、転倒させたり、ゆすったりしない。
また、ハンドル以外を持って移動しない。
注ぎ口やそれ以外の場所からお湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。
- ガラス部分にヒビ・欠け・擦り傷の入ったものは、思わぬときに破損することがあるため、絶対に使用しない。
やけどやけがをするおそれがあります。
- 不安定な場所や熱に弱いもの(ビニールマットなど)の上や可燃物(カーテンなど)の近くで使用しない。
本体が倒れてお湯がこぼれ、やけどをするおそれや、火災などの原因になります。
- フタを開けたまま湯沸かしをしない。
温度調整機能が正常に働かなくなったり、倒れたときに勢いよくお湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。
- フタを勢いよく開け閉めしない。
- 給電スタンドの上に本体をのせたままの状態の水や食材を入れない。
- 注ぎ口をふきんなどでふさがない。
お湯が吹きこぼれたり飛び散ったりして、やけどをするおそれがあります。
- 加熱中・加熱直後は勢いよくフタを開けたり、さし水をしない。
お湯が飛び散ったり、高温の蒸気が出てやけどをするおそれがあります。
- 加熱中は移動させない。
お湯が流れ出たり、蒸気でやけどをするおそれがあります。
- 給電スタンドのコードに手や足が引っかかるような場所に設置しない。
コードが引っぱられると、その勢いで本体が倒れてお湯がこぼれ、やけどをするおそれがあります。
- 湯沸かしおよび調理以外の目的で使用しない。

安全上のご注意 ③

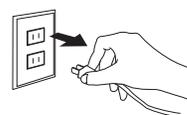
⚠ 注 意



指示

<電源プラグ・コードについて>

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って抜く。コードを引っばると破損して、感電・ショート・火災の原因になります。
- 使用後やお手入れをするときは、電源プラグをコンセントから抜く。けがややけど、絶縁劣化などによる感電・漏電火災の原因になります。



⚠ 注 意



禁止

本製品は耐熱ガラスを使用していますが、落としたり衝撃を与えると割れるものです。ご使用時は丁寧にお取り扱いください。

<お取り扱いについて>

- 使用中・使用直後は本体胴部・フタ・注ぎ口に触らない。やけどをするおそれがあります。
- 空だきをしない。空だき防止機能が働き通電は切れますが、内部のステンレス部分が熱くなり、やけどや故障の原因になります。
- 専用の給電スタンド以外は使用しない。また、給電スタンドを他の機器に使用しない。故障・発火の原因になります。
- 壁や家具の近くで使用しない。蒸気や熱で壁や家具が変色、変形する原因になります。収納棚などで使用するときには、中に蒸気がこもらないようにしてください。
- 落としたりぶつかけたりなど強い衝撃を与えない。破損・故障・短寿命の原因になります。
- 湿気の多い場所、ペットが通る場所では使用しない。変形・故障・事故・火災などの原因になります。



指示

- 異臭・発熱・変形・変色など、今までと異なることに気がついたときはただちに使用を中止する。発煙・発火の原因になります。
- お手入れは使用直後をさけ、本体が冷めてから行う。やけどのおそれがあります。
- パッキンが劣化した場合は交換する。劣化したまま使用すると、蒸気やお湯が漏れてやけどをするおそれがあります。パッキンのお求めについてはP14をご参照ください。
- 破損した際は、けがをしないよう十分注意する。廃棄する際は、お住まいの自治体の指示に従い分別してください。

使用上のお願い

- 本製品は「沸かす」「茹でる」「煮る」を目的とした調理ポットです。「焼く」「揚げる」等の調理はできません。
- 電磁調理器、直火、電子レンジ、オーブンなどで使用しないでください。
- 本製品は一般家庭用です。商用としては使用しないでください。
- 必ず屋内で使用してください。 ●日本国内でのみ使用してください。
- 備長炭など、水質改善剤や浄化剤を入れて使用しないでください。
- 牛乳などの乳製品を加熱すると、内部のステンレス部分に焦げ付きが発生する場合があります。その場合はP12「焦げ付きを落とす方法」を参照し、お手入れしてください。

各部の名称

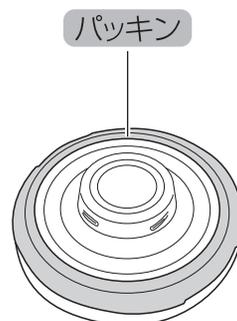
ご使用前にご確認ください。

は消耗品です。

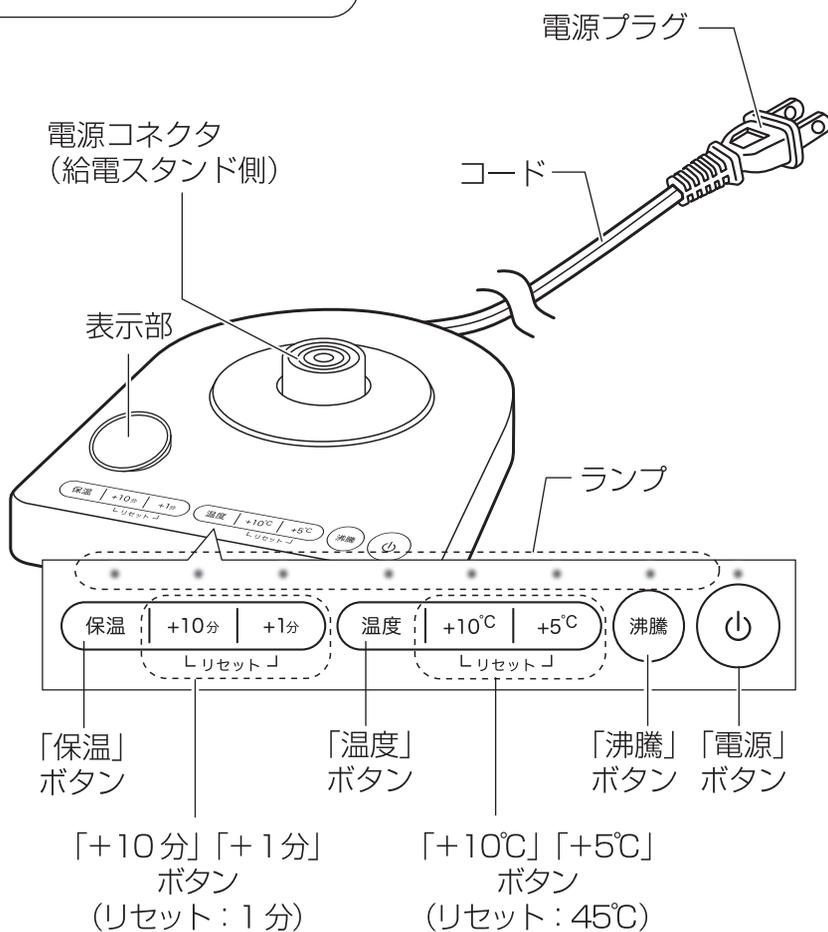
本 体



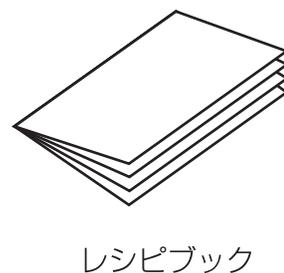
<フタ裏面>



給電スタンド



付属品



ご使用準備

■はじめて使用する際は、「お湯を沸かす①」(P6 参照) の要領で一度お湯を沸かし、そのお湯を捨ててからご使用ください。

※まれに、本体内側に水滴のあとがついていることがありますが、これは検品で使用した水に含まれているミネラル成分によるものです。衛生上問題ありませんのでご安心ください。

1 給電スタンドを置く

清潔で平らな安定した場所に置いてください。



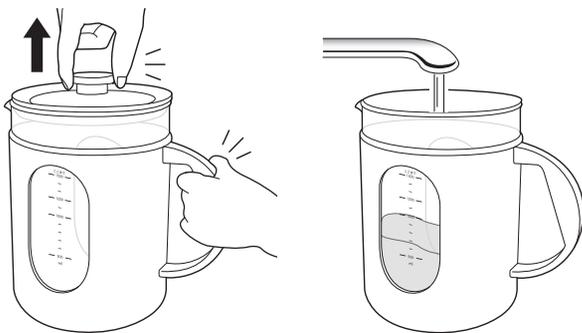
⚠ 注意

- 水がかかる場所に置かない。
感電・ショート・発火などの原因になります。
- 不安定な場所や乳幼児の手が届く場所に置かない。
本体が倒れ、お湯がこぼれてやけどをするおそれがあります。

2 フタを開けて、本体に水を入れる

必要な量の水を入れてください。

※500ml 以上の水またはお湯を入れてください。

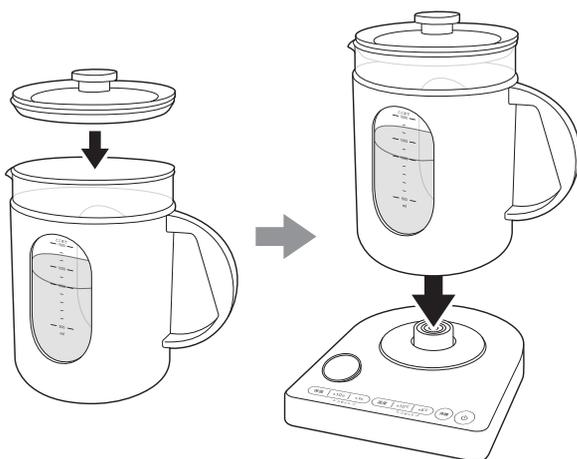


⚠ 注意

- 「ここまで / 1500」目盛り以上の水を入れない。
※調理の場合は食材を含めて「1200」まで
入れすぎると、吹きこぼれるおそれがあります。
- 必ず水またはお湯を入れて使用する。
水が少なすぎると、空だきになるおそれがあります。
- 給電スタンドの上に本体をセットしたままの状態
で水や食材を入れない。
故障や感電などの原因になります。

※ミネラルウォーターやアルカリイオン水などを使用すると、ミネラル成分が内側に付着しやすくなります。

3 フタを閉めて、本体を給電スタンドの上へセットする



⚠ 注意

- フタは確実に閉める。
- 電源コネクタ部に異物や水分が付着していないことを確認する。
感電・ショート・故障の原因になります。
- 注ぎ口を壁や家具などに向けない。
蒸気などにより、変色・変形の可能性があります。

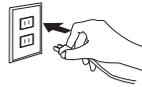
ご使用方法 ①

■お湯を沸かす①(かんたん湯沸かし)

沸騰するまでお湯を沸かします。湯沸かし後、保温はしません。

1 電源プラグをコンセントに差し込む。

「ピー」と音が鳴り、全ボタン上のランプと表示部が一瞬点灯した後、表示部に水温が表示され、電源ボタン上のランプが点灯します。



※約 1 分間何も操作しないと、「ピッ」と音が鳴り、自動的に電源が切れます。(オートパワーオフ)
再度電源ボタンに触れると電源が入ります。

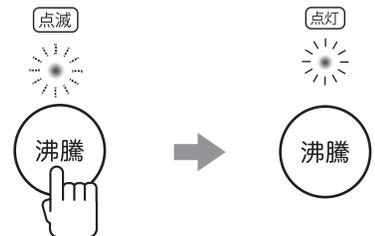
⚠ 注 意

- 電源プラグは奥までしっかり差し込む。
- 本体に水が入っていることを確認する。

2 「沸騰」ボタンに触れる。

「ピッ」と音が鳴って「沸騰」ボタン上のランプが点滅し、再び「ピッ」と鳴ると湯沸かしが開始されます。湯沸かし中は「沸騰」、「電源」ボタン上のランプが点灯し、表示部に現在の水温が表示されます。

※途中で湯沸かしを止める場合は、電源ボタンに触れてください。



<沸騰>

沸騰して表示が「100」になると「ピッピッピッ」と音が鳴り、「沸騰」ボタン上のランプが消灯します。

※そのまま約 1 分間操作しないと「ピッ」と音が鳴り、自動的に電源が切れます。(オートパワーオフ)



3 お湯を注ぐ。

沸騰状態がおさまってから、ハンドルをしっかり持ち、注ぎ口側にゆっくり傾けてお湯を注ぎます。

⚠ 注 意

- 勢いよく注がない。
- ハンドル以外に触らない。
やけどをするおそれがあります。

■残り湯は捨ててください。

本体内側の汚れやにおいの原因になりますので、使い残したお湯は捨ててください。



4 電源を切る。

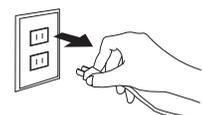
電源ボタンに触れると「ピッ」と音が鳴り、電源ボタン上のランプが消灯して電源が切れます。



5 電源プラグを抜く。

ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ⚠ 注 意 ●電源プラグを持って抜いてください。



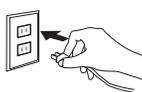
ご使用方法 ②

■お湯を沸かす②(沸騰→設定温度→保温)

いったん沸騰するまでお湯を沸かします。その後、設定温度まで下がってから設定した時間保温します。

1 電源プラグをコンセントに差し込む。

「ピー」と音が鳴り、全ボタン上のランプと表示部が一瞬点灯した後、表示部に水温が表示され、電源ボタン上のランプが点灯します。



注意

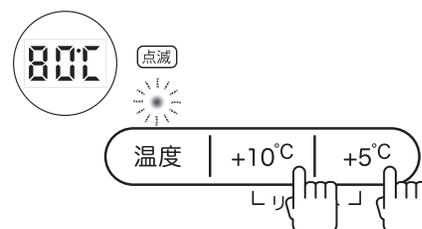
- 電源プラグは奥までしっかり差し込む。
- 本体に水が入っていることを確認する。

※約1分間何も操作しないと、「ピッ」と音が鳴り、自動的に電源が切れます。(オートパワーオフ)
再度電源ボタンを押すと電源が入ります。

2 温度を設定する。

「+10℃」または「+5℃」ボタンに触れて、45℃～95℃の間で設定します。

「+10℃」ボタンと「+5℃」ボタンに同時に触れると、45℃にリセットされます。

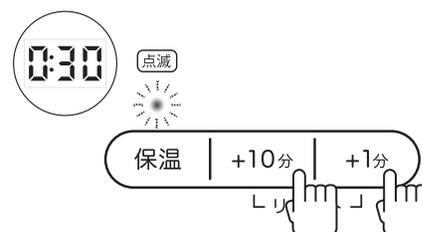


3 保温時間を設定する。

「+10分」または「+1分」ボタンに触れて、1分(0:01)～180分(3:00)の間で設定します。

「+10分」ボタンと「+1分」ボタンに同時に触れると、1分にリセットされます。

※設定しないと、保温時間は自動的に10分に設定されます。



4 「沸騰」ボタンに触れる。

「温度」および「保温」ボタン上のランプと、表示部が点滅している間(約5秒間)に触れてください。

「ピッ」と音が鳴り、湯沸かしが開始されます。

湯沸かし中は「沸騰」、「保温」、「温度」ボタン上のランプが点灯し、表示部に水温が表示されます。

※湯沸かし中に「温度」ボタンに触れると設定温度が、「保温」ボタンに触れると設定時間が表示部に約10秒間表示されます。

※湯沸かし中、「+10℃」または「+5℃」ボタンに触れると保温温度を、「+10分」または「+1分」ボタンに触れると保温時間を変更できます。

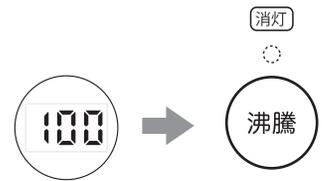
※途中で加熱を止める場合は、電源ボタンに触れてください。



P8へつづきます

<沸騰>

沸騰して表示部が「100」になると「ピッピッピッ」と音が鳴り、「沸騰」ボタン上のランプが消灯します。

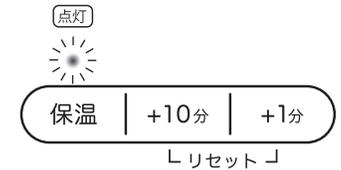


<保温開始>

設定温度まで下がると再度「ピッピッピッ」と音が鳴り、設定した時間の保温が開始されます。

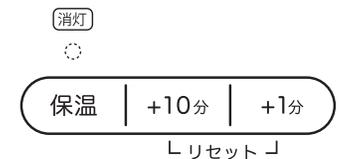
※保温中に「保温」ボタンに触れると、表示部に残り時間が表示されます。
(1分単位)

※保温中に本体を給電スタンドからはずすと、「ピッピッピッ」と鳴って表示部に「EU」が点滅します。約4分以内に戻すと保温を再開します。



<保温終了>

設定時間が経過すると「ピッ」と音が鳴り、「温度」および「保温」ボタン上のランプが消灯して保温が終了します。



5 お湯を注ぐ

ハンドルをしっかり持ち、注ぎ口側にゆっくり傾けてお湯を注ぎます。

注意

- 勢いよく注がない。
- ハンドル以外に触らない。
やけどをするおそれがあります。

■残り湯は捨ててください。
本体内側の汚れやおいみの原因になりますので、使い残したお湯は捨ててください。



6 電源を切る

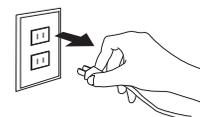
電源ボタンに触れると「ピッ」と音が鳴り、電源ボタン上のランプが消灯して電源が切れます。



7 電源プラグを抜く

ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意 ●電源プラグを持って抜いてください。



ご使用方法 ③

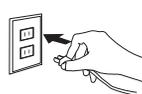
■お湯を沸かす③(設定温度→保温)

沸騰させずに設定温度まで加熱し、その後設定した時間保温します。

1 電源プラグをコンセントに差し込む。

「ピー」と音が鳴り、全ボタン上のランプと表示部が一瞬点灯した後、表示部に水温が表示され、電源ボタン上のランプが点灯します。

※約1分間何も操作しないと、「ピッ」と音が鳴り、自動的に電源が切れます。(オートパワーオフ)
再度電源ボタンに触れると電源が入ります。



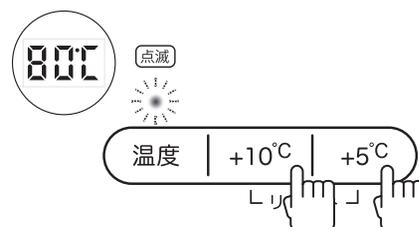
注意

- 電源プラグは奥までしっかり差し込む。
- 本体に水が入っていることを確認する。

2 温度を設定する。

「+10℃」または「+5℃」ボタンに触れて、45℃～95℃の間で設定します。

「+10℃」ボタンと「+5℃」ボタンに同時に触れると、温度が45℃にリセットされます。



3 保温時間を設定する。

「+10分」または「+1分」ボタンに触れて、1分(0:01)～180分(3:00)の間で設定します。

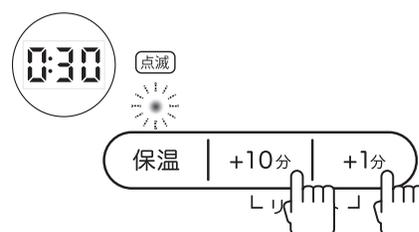
「+10分」ボタンと「+1分」ボタンに同時に触れると、1分にリセットされます。温度・時間の設定をすると、約5秒後に自動的に加熱が始まります。

※設定しないと、保温時間は自動的に10分に設定されます。

※加熱中に「温度」ボタンに触れると設定温度が、「保温」ボタンに触れると設定時間が表示部に約10秒間表示されます。

※加熱中、「+10℃」または「+5℃」ボタンに触れると温度を、「+10分」または「+1分」ボタンに触れると保温時間を変更できます。

※途中で加熱を止める場合は、電源ボタンに触れてください。



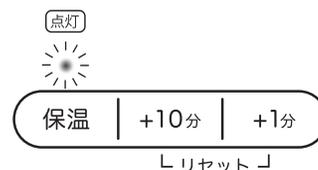
<保温開始>

設定温度に達すると「ピッピッピッ」と音が鳴り、設定した時間の保温が開始されます。

※保温中に「保温」ボタンに触れると、表示部に残り時間が表示されます。(1分単位)

※保温中、「+10分」または「+1分」ボタンに触れると保温時間を変更できます。

※保温中に本体を給電スタンドからはずすと、「ピッピッピッ」と鳴って表示部に「EU」が点滅します。約4分以内に戻すと保温を再開します。



<保温終了>

設定時間が経過すると「ピッ」と音が鳴り、「温度」および「保温」ボタン上のランプが消灯して保温が終了します。



4 お湯を注ぐ

ハンドルをしっかりと持ち、注ぎ口側にゆっくり傾けてお湯を注ぎます。

△ 注 意

- 勢いよく注がない。
- ハンドル以外に触らない。
やけどをするおそれがあります。

■ 残り湯は捨ててください。

本体内側の汚れやにおいの原因になりますので、使い残したお湯は捨ててください。



5 電源を切る

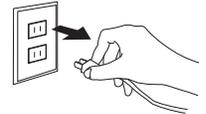
電源ボタンに触れると「ピッ」と音が鳴り、電源ボタン上のランプが消灯して電源が切れます。

消灯



6 電源プラグを抜く

ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- △ 注意 ● 電源プラグを持って抜いてください。

■ 付属の茶こしを使用してお茶を入れる

※水は 800ml 以上をお勧めします。

1～2人分など少量のお茶を入れたい場合には、茶こしは使用できません。

1 茶こしに適量の茶葉を入れる。

茶葉の分量は、茶葉の種類やお好みにより調整してください。

△ 注 意

- 茶こしに無理な力を加えないでください。変形や破損の原因になります。

2 「お湯を沸かす③」(P9 参照) の手順に従って温度を設定する。

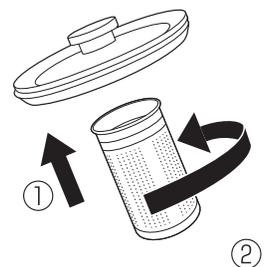
茶葉の種類に応じて、温度・保温時間はお好みで設定してください。

3 「ピッピッピッ」と音が鳴って設定温度になったら、フタをはずして茶こしをセットし、再度フタを閉める。

茶こしをフタに押し付け①、矢印の方向に回転させて取り付けます②。再度フタを閉め、設定時間(またはお好みの飲み頃)になったら、湯のみ茶わんなどにお茶を注ぎます。

※過度の抽出を防ぐため、抽出完了後は茶こしをはずしてください。

※フタの開閉や茶こしの取り付け・取りはずしの際は、蒸気やお湯によるやけどにご注意ください。



■即席めんを作る

「お湯を沸かす②」（P7参照）の方法で即席めんを作ります。

※本製品での調理時間は、即席めん指定されたゆで時間より長くなります。

- 1 本体に即席めん指定された量の水を入れる。
- 2 「お湯を沸かす②」（P7～8参照）の手順に従って温度を95℃、保温時間を即席めん指定されたゆで時間に設定する。
- 3 表示部が「100」になり「ピッピッピッ」と音が鳴ったら、フタをはずして、めん、ゆでる時に入れるもの（かやく、粉末スープ等）を入れてめんをほぐし、再度フタを閉める。
※フタの開閉時、蒸気やお湯が漏れることがあります。やけどにご注意ください。
※95℃になると「ピッピッピッ」と鳴り、そこから保温が開始されます。
- 4 「ピッ」と音が鳴って保温が終了したら、本体の中身をよく混ぜて器にうつし、茹で上がり後に入れるもの（液体スープ等）を加える。

お手入れ方法

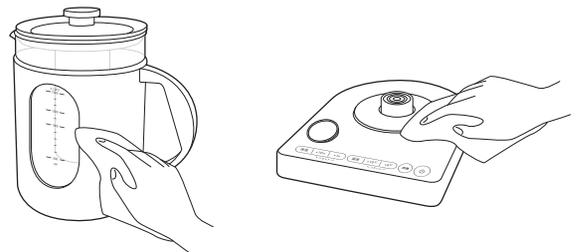
△ 注 意

- 必ずコンセントから電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う。
- シンナー、ベンジン、みがき粉、漂白剤、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しない。
- 本体・給電スタンドは丸洗いをしない。また、食器洗浄機や食器乾燥機を使用しない。
- 本体内側を洗った後は乾いた布などで水分を拭き取り、よく乾燥させる。また、ドライヤーは使用しない。
- 本体内側を洗うときは電源コネクタを濡らさないよう注意する。また、濡れた状態で使用しない。

本体外側・給電スタンド

掃除目安：ご使用毎

- 1 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取る。
汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を少量含ませた布で汚れを拭き取ってください。
- 2 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させる。



本体内側

掃除目安：ご使用毎

1 水でよくすすぎ、内側を乾燥させる。

※調理後は、中性洗剤とやわらかいスポンジを使って洗い、よくすすいでください。

焦げ付いた場合は P12 の重曹での洗浄を実施してください。

※本体内側の汚れ（白い浮遊物、赤や白の斑点状のもの、虹色の変色など）は、水に含まれるミネラル成分の作用によるものです。衛生上問題はありますが、汚れが目立ってきたら定期的に P12 のクエン酸での洗浄を実施してください。

※ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは、こまめにお手入れをしてください。

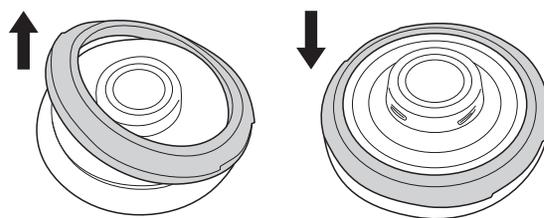
フタ、パッキン、茶こし

掃除目安：ご使用毎

1 中性洗剤とやわらかいスポンジを使って洗い、よくすすいだあと乾燥させる。

パッキンは上に持ち上げるように引っ掛けてフタから取り外します。

乾燥後、パッキンのくぼみ部分をフタのでっぱりに合わせて押し込み、取り付けてください。



クエン酸洗浄方法

掃除目安：3ヶ月に1回 または汚れが目立ってきたとき

1 水を「ここまで/1500」の水量目盛まで入れ、その中にクエン酸を30g程度入れてかき混ぜる。

2 フタを閉めてP6「お湯を沸かす①」の手順で沸騰させ、そのまま約1時間放置する。

3 お湯を捨て、水でよくすすぐ。汚れが残っている場合にはやわらかいスポンジ等で拭き取ってからよくすすぐ。

クエン酸のにおいが気になる場合は、再度水だけを入れて沸騰させ、お湯を捨ててください。

4 内側をよく乾燥させる。

焦げ付きを落とす方法

1 水を「500」の水量目盛まで入れ、その中に重曹を5g程入れてかき混ぜる。

2 フタを閉めてP7「お湯を沸かす②」の手順で95℃、10分に設定する。

3 保温時間経過後、お湯を捨て、水でよくすすぐ。焦げが残っている場合は、やわらかいスポンジ等でこすり取る。

4 内側をよく乾燥させる。

故障かな？と思ったら

| こんなときは | 原因 | 対策 |
|-------------------|---|---|
| 電源が入らない | 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない | 電源プラグを根元まで確実に差し込んでください |
| 10分の保温しかできない | 保温時間を設定していない | 沸騰ボタンを押す前、または温度/保温ボタン上のランプ点滅中に「+10分」ボタンまたは「+1分」ボタンに触れて保温時間を設定してください |
| 勝手に加熱している | 保温中になっている | 電源ボタンに触れて保温を解除してください |
| 沸かしたお湯が設定より低い | フタが開いている | フタを確実に閉めてください |
| 沸かしたお湯が設定より高い | 水の量が少なかった | 500ml以上の水を入れてください |
| 設定した温度にならない | 測温方式によるばらつきやご使用環境などにより、設定した温度と実際の温度に誤差が生じることがあります | |
| 設定した温度まで上がらない | 焦げ付きが発生している | P12「焦げ付きを落とす方法」を参照し、お手入れしてください。 |
| お湯があふれる 吹きこぼれる | 水の量が多かった | 水の場合「ここまで/1500」、調理の場合は「1200」の水量目盛を超える水を入れないでください。 |
| 沸かしたお湯がにおう | 水道水に含まれる塩素の量によりカルキ臭が残ることがあります お茶などをおいしくいただくときは、浄水を使用されることをお勧めします | |
| | 使いはじめのうちにはおいがすることがありますが、ご使用されているうちににおいは少なくなります | |
| 「E2」が表示されて操作できない | 温度検知エラー | 本体に水を入れ直して再度電源を入れてください→改善されない場合は販売店に修理を依頼してください |
| 「EU」が表示されて操作できない | ポット検知エラー | 本体を給電スタンドにセットしてください。→改善されない場合は販売店に修理を依頼してください |

※高地や寒冷地では一定の温度性能を確保できない場合があります。

長年ご使用の電気製品の点検のお願い

定期的に「安全上のご注意」、「ご使用方法」を確認してください。長年のご使用などの影響で製品が劣化し、故障や事故につながる場合があります。

こんな症状はありませんか？

- 電源プラグ・コードに損傷が見られる。
- 電源プラグ・コードが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 本体が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 本体から水が漏れる。
- その他異常・故障がある。

ご使用中止！！

故障や事故防止のため、使用を中止して、電源プラグを抜いて、販売店などに点検・修理をご相談ください。

お客様ご自身での修理は大変危険ですので、絶対にしないでください。

アフターサービスについて

修理やお取り扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認の上内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

- 保証期間中でも有料となる場合がありますので、＜保証規定＞をよくお読みください。
- 当社修理技術者以外の方が分解・修理した場合は、保証対象外となります。

2. 修理を依頼される時

- 「故障かな？と思ったら」をご確認いただいても異常のあるときはご使用を中止し、修理をご依頼ください。
- 保証期間中は、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証書の記載内容にそって修理いたします。
なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- お買い上げの販売店または、下記「株式会社ドリテック お客様相談センター」までお問い合わせください。

4. 付属品、消耗品のお買い求め

- 茶こし、パッキンのお買い求めは、下記「株式会社ドリテックお客様相談センター」までお問い合わせください。

輸入販売元

株式会社 ドリテック

お客様相談センター



0120-875-019

(受付時間：月～金9：00～12：00, 13：00～17：00
祝祭日および当社指定休日を除く)

お客様サポート



仕 様

| | | | |
|---------|--|---------|-------------|
| 品 番 | PO-163 | 品 名 | 調理用ポット「ククポ」 |
| 電 源 | AC100V 50/60Hz | 定格消費電力 | 800W |
| 最 大 容 量 | 水のみ：1.5L 調理：食材を含めて 1.2L | 電源コード長 | 約 120cm |
| 寸 法 | 約 幅 21.5× 奥行 20.5× 高さ 24.0cm (給電スタンド含む) | | |
| 質 量 | 本体のみ：約 1.0 kg 給電スタンド含む：約 1.4 kg | | |
| 材 質 | 本体：ステンレス・ポリプロピレン・耐熱ガラス 給電スタンド：ポリプロピレン 茶こし：ステンレス | | |
| 設 定 温 度 | 45℃～95℃、沸騰 | 保 温 時 間 | 1分～180分 |
| 付 属 品 | 茶こし・レシピブック | | |

※製品の仕様は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。

本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店へご相談ください。

| | | | |
|--------|--------------------|-----|------|
| 品番 | PO-163 | | |
| 保証期間 | お買い上げ日より | 1年間 | 持込修理 |
| | ※本体・給電スタンド | | |
| お買い上げ日 | 年 | 月 | 日 |
| お客様 | お名前 ご住所 お電話 | | |
| 販売店* | 販売店名 ご住所 お電話 | | |

販売店様：*欄は必ず記入してお渡しく下さい。

〈保証規定〉

- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常なご使用状態で故障した場合には本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等や異常電圧などの外部要因等による故障または損傷。
 - ※ご使用上に生じる外観の変化。
 - ※本書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
 - ※本書のご提示がない場合。
 - ※一般家庭以外（例として、商用など）に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 安全上のご注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。

修理メモ

| |
|--|
| |
|--|

輸入販売元 株式会社ドリテック 〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地 2-3-9

お客様相談センター



0120-875-019 URL : <https://www.dretec.co.jp>

（受付時間：月～金9：00～12：00, 13：00～17：00 祝祭日および当社指定休日を除く）